

一般質問13人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、議会事務局、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、またはホームページにて閲覧できます。
なお、12月定例会会議録は3月中旬から閲覧可能です。

北野 唯道

問 文化センター入札について何う。参加した業者は。

答 2社の特定建設工事共同企業体である。

問 本体工事が不落でなぜ電気・暖冷房の入札をしたのか。

答 話合で随意契約の道が見込めると判断し執行した。

問 社会保障と社会福祉について、母子家庭の世帯数と児童扶養手当と受給者数及び支給額について。

答 平成24年度は2218人に対し3億3477万4千円を支給した。

問 生活困窮者支援について

答 保護受給者は平成25年11月現在、281世帯で316人である。

問 全国学力テストについて

答 福島県が全国で44番であるが、教育長の考えについて

答 全国学力テストの結果、福島県は小中学校ともに算数・数学が全国平均を下回っており、基礎・基本の学習指

導に努力してまいりたい。

問 学校教育の環境整備について

答 地域の活性化のためには市の持つ総合的な魅力の発信に努めてまいりたい。



市民文化会館概観イメージ



市民文化会館大ホールイメージ

戸倉 耕一

問 有害鳥獣対策について

答 平成26年度において有害鳥獣から農地を守る対策について

答 イノシシの捕獲に全力を挙げるため、本年度から一頭あたり1万円の報奨金を提供する有害鳥獣捕獲報奨制度を創設した。その結果、前年度の27頭から本年度は11月末現在で47頭と大幅に捕獲頭数を増やし、一定の効果があつたことから26年度においても継続する。また、有害鳥獣被害を防ぐには地域ぐるみで防止することも必要であり、電気柵などの施設も有効であると考えられるので、これを含めて幅広く対応してまいる。

問 大信地区3小学校の統合について

答 3小学校の今後のあり方を検討するための新たな組織の設置要望をいただき、小学校再編検討委員会の立上げ準備を進め、26年末を目途に提言をまとめていただきたいと考えている。また、信夫第二小・大屋小において複式学級になる可能性があり、非常勤講師を配置することも検討していきたいと考えている。

問 市長交際費のうち、「有識者懇談会」とは。

答 事業等について、情報を得たり、信頼関係・友好関係を構築するための会である。

問 ではなぜ、詳細な内容の情報開示がされないのか。

答 政策形成過程での会であり、相手方との信頼関係を維持するため、開示できない。

問 監査委員には、会の目的・参加者・会場場所など詳細な説明がされているのか。

答 監査委員に対しては、会の目的・参加者などの説明はしていない。

問 ツーリズムガイドの皆さんは、市の観光行政に重要な方々である。どのような支援

をされているのか。

答 これまで観光物産協会を通じ、スタッフジャンパーなど所用の支援をしてきた。今後も要望に応じていきたい。

問 ガイドの皆さんの高齢化が問題となっていると聞いている。対策は。

答 広報や公民館講座などを活用し、募集を図っていきたい。また、市職員等にも呼びかけたかと考えている。

問 地域自治区(地域協議会)の今後の見通しについて

答 今後各地域の振興を図るためには、振興事務所と連携しながら、地域協議会の機能を継承する組織が必要であると考えており、これを設ける方向で検討していく。

問 河川堤防の火入れについて

答 現時点でも火入れの自粛が継続されているものの、市が届出をすれば安全対策等を講じることを条件に実施できることとなった。

問 消防団員の確保(市職員

の消防団入団)について

答 東日本大震災を契機に、地域防災の観点からも消防団活動の重要性が再認識されて

いる。市職員が消防団に入団することにより、消防団員としての活動はもとより、地域の行事などへ参加する機会が増加し地域貢献の場も増えるものと思われる。また地域コミュニティへの参画により住民との交流が図られ職員としての資質向上や人間的な成長にもつながるので、職員の入団について積極的に推進してまいらる。

藤田久男

問 市民文化会館について運営の方法について。早いうちに方法を決める必要があると思われるが運営主体についてどのように考えているか。

答 専門性の高い施設であるので、他の施設以上に創意工夫が必要になってくるので先進事例を参考に26年度の早い時期に方向性を決定したい。

問 保育園の待機児童数とその解消について

答 待機児童数は12月1日時点で30人となっている。待機児童の要因は保育士不足で現在解消に向けて9月以降6名を雇用したが、解消には至っていない。正職員の増員特例条項を適用し嘱託保育士雇用延長賃金改善策の検討を講じてい

る。なお、来年4月新たに私立保育園定員69名の開園を予定している。

問 全国学力テストについて今後の対応策について

答 学力向上につき教員の指導力向上の授業研究会、教育講演会など行っている。地域、家庭の教育の向上に連携を図ってまいりたいと考えている。

佐川京子

問 白河のお土産が一堂にそろった物産館の設置に向けて具体的に動き出してほしい。

答 物産館の整備の必要性は感じている。具体的に観光物産協会、商工会議所、商工会等関係団体と協議を進めたい。

問 市内各地でまちの活性化のためにイベント等を実施している若者等の支援体制を見直して、強化してほしい。

答 小さい地域のイベントの補助事業は、現在のとおりない状況である。国・県・民間の補助、支援事業の情報提供を積極的に行っていく。

問 国の農業政策が大きく変わろうとしている。今後どうすれば良いかと不安に思っている農家がたくさんいる。これらに対処するため、これか

らの白河の農業を考えるための講演会やシンポジウムの実施や情報提供をしっかりとやってほしい。

答 説明会や催しの情報を広報誌やチラシ等で十分周知を図っていく、新しい制度が確立した際には、関係機関と協力し、地域説明会の開催等により、情報を伝えていく。



イベント広場での献血の様子

石名国光

問 老朽化構造物の長寿命化対策を市長に伺う。

答 老朽化施設の更新時期を迎え安全・安心の観点から巡視点検で健全度を把握し対策を講ずることが重要であり、国の補助や県の指導を受け橋梁の調査点検を行い、23年度に橋梁長寿命化計画を策定し西郷高原大橋の修繕に着手し

た。今後も計画的な修繕更新を行い、社会資本の長寿命化を図ってまいりたい。

問 「歴史伝統文化が息づく、市民享楽の城下町」をコンセプトの活性化事業が行われてきたが、事業の検証と第二期申請スケジュールについて

答 一期計画の総括は、市街地活性化に一定の効果が得られたと考えている。目標指標として居住人口、小売業及び一般飲食店事業者数、平日歩行者通行量の増加など、図書館を含む、白河駅前多目的交流施設の整備、ヨークタウン白河横町の誘致で目標値を上回る結果となった。二期申請は、協議会等の意見を受け、一月末申請、三月下旬認定の目標で進めている。

菅原修一

問 小峰城跡の整備計画は。

答 石垣や堀跡などの遺構が残る本丸、二の丸、本丸東側の丘陵を含めた19ヘクタールについて、国史跡の指定を目指している。修復工事は28年度末までに終了させる見込みである。石垣の修復に併せて、散策路の整備、ライトアップ、集古苑の充実などを図り、多くの人が集い、楽しめる観

光資源として充実させたい。

問 サッカー専用芝生グラウンドの整備について

答 サッカー競技団体の活動実態や競技人口の動向を踏まえて、サッカー専用グラウンドの必要性を調査していく。

問 指定管理者制度のあり方

答 指定管理者の審査には、利用者や専門的知識を有する方の意見も参考にし、透明性・公平性が図れるよう、外部委員の導入について、検討していく。

問 環状交差点の導入について

答 県警など関係機関との勉強会や走行実験へ参加して、環状交差点の特性等を踏まえ導入の可能性について検討する。



小峰城石垣修復状況

地域政策について

問 新市となり9年目、まちづくりの目標と各地区の発展とは大きくかけ離れた状況が自治区に起きています。各種データを見て、状況が顕著になっている。

●各地区の人口動向。

平成18年比、25年(1月現在)。

白河地区マイナス3.1%、

表郷地区マイナス8.0%、

大信地区マイナス8.2%、

東地区マイナス6.8%。

●子どもの人数。

平成17年度比、24年度。

白河地区マイナス5.4%、

表郷地区マイナス40・3%、

大信地区マイナス31・7%、

東地区マイナス42・8%。

自治区のこのような状況を

市長としてどう見ているのか、

今後どのように考えているか。

答 人口減少、少子高齢化は

全国的傾向。本市も地域差は

あるものの同様となっている。

今後については、地域住民の

声を聞き、各地区の振興にお

いて必要な施策・事業を見極

め実施していく考えである。

問 各地区の振興計画が必要。

答 総合計画の中で対応する。

市民会館の建設費について

問 建設資材や労務費の高騰により今回11億6千万円という多額な補正が行われ、市民文化会館建設費は約91億円に達し、総事業費は100億円が見込まれる。一つの建設事業にこんなにも多額な費用が使われてよいのか。老朽化した白一小、白二中、中央公民館の整備は急務で、同様に表郷・大信・東地区にも急がれる課題がある。国の補助金も多いが、それに比例して市負担も増え、その負担財源は一市三村の合併の恩典である合併特例債である。今回入札が不調となった。この超大型事業費の見直しは必要と考える。188億円の合併特例債の残額ほどの位か。次の白河のために少しでも残すことはどうか。

答 資材や労務費の高騰は今

後も続くことが予想され、入

札不調の要因については入札

者の積算内容等を精査してい

る。事業費の見直しは考えて

いない。約188億円の合併特例

債の残額は約41億円である。

農業問題について

問 TPP交渉における農業分野重要5品目の関税についても政府の約束どおり守れるか不透明な状況になってきている。以前、市長はTPP全体を考えると交渉参加はやむをえないとの考えを示していたが、それ以降の交渉状況を踏まえて、TPP交渉の特に農業分野についての認識、考えを示してほしい。

答 日本農業における影響を

考えると、TPP交渉におい

ては衆参両院の農林水産委員

会の決議を踏まえ、米、麦、

牛肉、豚肉、乳製品、甘味資

源作物の「農産物の重要5品

目」については聖域であるこ

とから、しっかりと守るべき

であると考えている。各国が

互いの利益を守るため激しく

対立するなかで、交渉全体を

取りまとめることは困難を極

める状況にあると思われるが、

基本的には「農産物の重要5

品目」については死守しても

らいたいと考えている。

企業誘致の優遇制度は

問 震災以降三菱ガス化学やヤフー等11社の新規立地と18社の増設が決定。今後約490億円の投資額と約400人の新規地元雇用が見込まれる。優遇制度は企業立地補助金や投資促進特区等の制度を活用。

答 震災以降三菱ガス化学や

ヤフー等11社の新規立地と18

社の増設が決定。今後約490億

円の投資額と約400人の新規地

元雇用が見込まれる。優遇制

度は企業立地補助金や投資促

進特区等の制度を活用。

問 きつねうち温泉のリニュー

ール推進事業の進捗状況は。

答 露天風呂の新設と洗い場

増設や大広間改修と蒸気ボイ

ラーの導入事業等を平成27年

4月にオープンする予定。

問 小中学校・保育園・幼稚園

等へエアコンを設置するべきだが市の考え方について

答 30度以上の真夏日が増加

しているので子供たちが集中

して授業に取り組める効果も

期待できることから総合的に

検討を行っていく。

問 文化団体の公共施設使用

減免規程と市文連と公民館ク

ラブ会長会の一本化について

答 中央公民館のクラブは今

まで有料だったが、市文連36

団体と公民館クラブ59団体は

活動内容及び開催事業が類似

しており公共性が高いので今

後同様に取り扱い予定である。



露天風呂の完成が待たれる



リニューアル予定のきつねうち温泉

教育施設等へのエアコン設置

問 教育施設等へのエアコン

設置について今議会で、「夏

の猛暑は承知している。総合

的に検討したい」との答弁が

あった。市や近隣市町村での

設置状況はどうなっているか。

答 公立幼稚園・保育園では、

一部を除きすべての遊戯室・

保育室に。小中学校では、普通教室等には未設置だが、一部の学校の管理諸室とパソコン室に設置している。東西白河(川)郡内小中学校全体での設置率は、概ね7割となっている。

問 市は近隣市町村に遅れをとっている。教育委員会は、来年度予算で小中学校へのエアコン設置を要求したのか。

答 現在は意思形成過程段階であり、答弁できない。

問 須賀川市では、約7億円の予算と見込み・検討。9月議会で市長が、来年度までの設置を約束した。どれくらい予算がかかるのかもわからず、「総合的に検討」というのは言い逃れではないか。来年度予算で設置できないか。

答 意思形成過程段階であり、答弁できない。

傍聴席

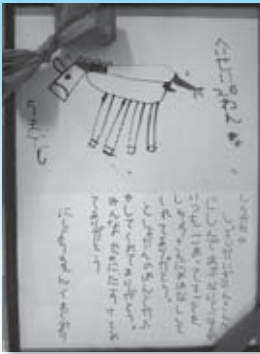
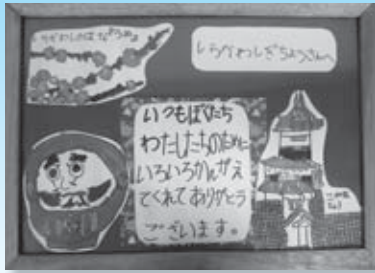
12月定例会の傍聴者数は次のとおりです。(延べ人数)

12月13日(金) 20人
16日(月) 32人
17日(火) 5人

幼稚園児からの贈り物



去る11月26日、白河幼稚園、西幼稚園、東幼稚園の3園の園児の皆さんから議会へ心のこもった贈り物をいただきましたので紹介します。



関辺小学校6年生 議会傍聴感想文



12月定例会を傍聴した関辺小学校6年生から感想文をいただきましたのでご紹介します。

藤田沙己
消費税の活用やこれからの白河について、みなさんが懸命に話し合っている姿を見て感動しました。

金澤俊樹
市民のことを第一に考えて話し合っている様子を見て、とてもうれしく思いました。

野内有桂
白河市を「通過点」ではなく「目的地」にしたいという話し合いに、大変興味をもちました。

藤田祥平
初めて市議会見学しました。税金について授業で学んだばかりだったので、興味をもちました。

根本愛鈴
議会は、白河市民のためにたくさんの意見を交していることを改めて実感しました。

佐藤隆嗣
市議会を初めて見学しました。提案を実現するためには、多くの時間と議論が必要だと

感じました。

大高倅暉
議長席があとまで高いとは思いませんでした。1時間の見学だったので、今度は最後まで見学したいです。

菊地拓也
見学をさせていただいてありがとうございます。発言をする際にマイクが赤く点灯して驚きました。

我妻歩優
見学をして、議会の皆さんの市作りに対する熱い思いが伝わってきました。これからも頑張ってください。

芳賀葉月
これからの市政のことや白河の観光について話し合っていて、印象に残りました。

松原ことみ
消費税のことや白河市の観光について、真剣に話し合っていました。見学させていただき勉強になりました。